

## 小学校4年（第4時） 自己理解・他者理解

### 自分も相手も大切に 「相手はどんな気持ち？」

#### 1 ねらい

相手の気持ちを理解することの重要性に気付くとともに、相手の気持ちを知るための視点を学び、相手の気持ちを理解しようとする態度を養う。

#### 2 本時で目指す児童の姿

- (1) 言葉の裏に隠されたさまざまな気持ちがあることを理解している。
- (2) 相手の気持ちを理解するための4つの視点を理解し、今後の生活に生かそうとしている。

#### 3 準備

使用するシート

ア 「相手はどんな気持ち？」ワークシート【p. 93】

イ 「相手はどんな気持ち？」状況シート【p. 94】

#### 4 展開

学習活動	留意点
<p>1 「自己理解・他者理解」について理解する。 【2分間】</p> <p>2 本時のねらいを理解する。【2分間】</p> <p>○相手の気持ちを理解しきれず、困った経験について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・思っていたことと違う反応になることってあるよね。</li><li>・親切にしたつもりが、怒らせてしまったことがあったよ。</li><li>・そういうことって意外とあるかも。</li><li>・道徳の授業でもあったな。</li></ul>	<p>○例えば、教師が身近な経験談等のエピソードを紹介する。エピソードを児童から引き出すことも考えられる。</p> <p>○相手の気持ちを理解することが、お互いの幸せにつながることをおさえる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">相手の気持ちを理解するにはどうしたらよいだろう。</div>	
<p>3 相手の気持ちを理解するためのポイントを考える。 【8分間】</p> <p>○ワークシートのAさんの例を読み、Aさんの気持ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・嫌な気持ち。本当は自分で解きたかった。</li></ul>	<p>○Aさんがなぜその気持ちになったのか、どこからそれが分かるかも一緒に</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中までやっていたからね。きっと考えてペンが止まっていたんだよ。</li> <li>・声を掛けたとき、手で隠したり、表情が曇ったりしたところからも読み取れるね。</li> <li>・最後も下を向いたままだし、「ありがとう」も小さな声だから気持ちは下がっているね。</li> </ul> <p>○相手の気持ちを理解するために何を意識すると良いか、そのポイントを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表情                      ・声の大きさ（トーン）</li> <li>・周りの様子（状況）                      ・しぐさ</li> </ul> <p>4 ポイントを意識して体験する。【28 分間】</p> <p>○どんな気持ちの「おはよう」か、声の大きさ（トーン）で考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしいときは声が高い。</li> <li>・怒っているときは声が大きい。</li> <li>・悲しいときは声が小さい。</li> </ul> <p>○教師の表情から気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頬があがっているからうれしい。</li> <li>・眉間にしわがよっているから怒っている。</li> </ul> <p>○相手のうれしい（怒り、悲しい）しぐさを見て、そのしぐさの特徴を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悲しいときは肩が下がって小さくなっている。</li> <li>・怒っているときは、乱暴な動きになる。</li> </ul> <p>○シートの状況を見て気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールをとられているから悲しい。</li> <li>・ボールをとられているから怒っている。</li> </ul> <p>○それぞれのポイントの特徴をまとめる。</p> <p>5 振り返り 【5 分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のポイントを明日から意識していこう。</li> <li>・自分は特に表情をしっかりと見るようにしていきたいと思った。</li> </ul>	<p>考えるようにする。</p> <p>○Aさんの例からつなげて考えるようにする。</p> <p>○周りの様子については改めて他の例と結びつけることも考えられる。</p> <p>○「喜」、「怒」、「悲」でそれぞれ演技し、判断した理由も考える。</p> <p>○演技を教師が行うか児童が行うかは実態に応じて判断する。</p> <p>○「喜」、「怒」、「悲」で表情をつくり、判断した理由も考えるようにする。</p> <p>○ペアでそれぞれのしぐさを交代しながら演じる。</p> <p>○実態に応じて、恥ずかしい等の他の感情を加えても良い。</p> <p>○判断した理由も考える。</p> <p>○表情や状況などは、人によって捉え方が異なる場合についても確認する。</p> <p>◇（ねらいにせまった姿） 相手の気持ちを理解するためのポイントを理解し、今後の生活に生かそうとしている。</p>
---	---

## 【ワークシート】

年 組 番 名前

### Aさんの例

算数の問題を解いているとき、となりの席のAさんは悩んでいるようで、途中でペンが止まっていた。そこで、「教えてあげるよ」と声をかけた。すると、Aさんは手で自分がやっている問題を隠し、少し表情がくもったように見えた。しかし、困っているAさんを助けたいと思い、問題の解き方を説明した。説明を終えると、Aさんは下を向いたまま「ありがとう」と小さな声で言った。

- Aさんはどんな気持ちだったのだろうか。

- なぜそう思ったか、その理由を書こう。

- 相手の気持ちを考える4つのポイント

- 今日の授業で感じたこと、気付いたことを書こう。

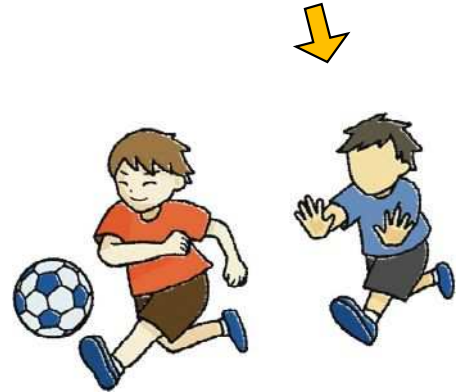


## 【状況シート】

年 組 番 名 前

- イラストの矢印の子はどんな気持ちだと思いますか。

なぜそう思ったか、その理由を書こう。



- イラストの矢印の子はどんな気持ちだと思いますか。

なぜそう思ったか、その理由を書こう。



- イラストの矢印の子はどんな気持ちだと思いますか。

なぜそう思ったか、その理由を書こう。

